

社会科学習指導案(本時案) 6 学年

単元名『武士の世の中へ』

平成 30 年 6 月 28 日(木) 第 5 校時
授業会場 6 年東組教室
6 年東組 男子 19 名 女子 16 名 計 35 名
指導教官

1 本時の位置 (全 5 時間扱い中の第 1 時)

前時：藤原氏が栄えていたころの貴族のくらしに資料を活用して調べ、日本風の文化が生まれたことを読み取ることとした。

次時：源氏と平家の盛衰を年表や軍の進路の図を活用して調べることで、武士の政治の始まりとその経過についてまとめる。

2 本時の主眼

貴族に続いて武士というものを知って興味を持った子どもたちが、武士と貴族の様子の違いがどのようなものか考える場面で、貴族と武士のやかたの様子を見比べて、武士と貴族の違いを書きだすことを通して、武士の特徴をまとめることができる。

3 指導上の留意点

・一目で 2 つの絵の違いを把握したり、違う箇所を把握したりできるように、電子黒板を用意する。

4 本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導入	1 武士と貴族の絵をみて、それらに違いがあることに気づく。	・貴族の方が楽しそう。 ・武士の方では馬がいる。 ・武士の方では川が外にある。	5	○武士と貴族の館の絵を黒板のスクリーンに映し出す。 ○子どもの発言を黒板に書いて、学習問題に繋げていく。
	学習問題 武士と貴族の様子の違いはどのようなものだろう。			
展開	2 追究の見通しを話し合う。	・タイムスリップする。 ・教科書の絵を見してみる。	5	○どうすれば学習問題が解決できるか話し合う場または解決方法を共有する場を設ける。
	学習課題 武士と貴族のやかたの様子を見比べることによって、武士と貴族の違いを書きだそう。			
開	3 武士のすまいの絵と貴族のすまいの絵を比較して違いをノートに記入する。	・武士は弓を、貴族は笏を持った人がたくさんいる。 ・馬に乗った人がいる。 ・武士の館は高いところに見張りがあるが、貴族の館にはいない。	10	○一人で考え、書きだす時間を設ける。 ○机間指導で声掛けを行う。 ○絵を指して着目してみてほしいところを伝える支援をする。
	4 見つけた違いを発表することで、クラスで共有した後に、武士とは何かを把握する。	・見つけた違いを発表する。 ・なんでそんな違いがあるのだろう。 ・戦いに備えていたのだね。 ・なんで戦いに備えているのだろう。 ・土地を守っていそう。 ・そもそも武士って何だっけ。 ・都には貴族がいたから、武士は田舎にいたのかな。 ・武士はその後どうなったのだろう。	20	○お互いの気づいたことが共有されるように電子黒板を用いて、気づいた箇所に○をしながら発表できる場を設ける ○武士とは何か考えて話し合う場を設ける 評価：武士の特徴をノートにまとめている。
末	5 本時の追究を振り返る。	・武士と貴族ではいろんな違いがあったね。 ・武士のその後について知りたい。	5	○武士と貴族を比較することで武士について理解が深まっていることに気づくような振り返りを設ける。